

1

次の取引の仕訳を示しなさい。ただし、商品に関する勘定は3分法によること。

- 現金 50,000 を普通預金に預け入れた。
- 東京商店は商品 90,000 を売り渡し、代金のうち 80,000 はさきに発行した商品券で受け取り、残額は現金で受け取った。
- 静岡商事株式会社の株式10株を1株につき 70,000 で買入れ、代金は買入手数料 3,000 とともに小切手を振り出して支払った。
- 帳簿価額 4,100,000 の建物を 4,600,000 で売却し、代金は小切手で受け取り、ただちに当座預金とした。
- 定額資金前渡法を採用している三重商店の会計係は、月末に庶務係から次の小口現金出納帳にもとづいて、当月分の支払高の報告を受けたので、ただちに小切手を振り出して補給した。

小口現金出納帳

収 入	平 成 ○ 年	摘 要	支 出	内 訳				残 高
				通 信 費	交 通 費	消 耗 品 費	雑 費	
50,000	5 /	前月繰越						50,000
		合 計	47,000	16,000	20,000	8,000	3,000	

- 新潟商店（個人企業）の店主は、事業拡張のため、現金 1,000,000 を追加元入れした。

2

山梨商店の下記の取引について、

- 仕訳帳に記入して、総勘定元帳の売掛金勘定に転記しなさい。
- 売上帳・売掛金元帳に記入して、締め切りなさい。

ただし、i 商品に関する勘定は3分法によること。

ii 仕訳帳の小書きは省略する。

iii 元丁欄には、売掛金勘定に転記するときだけ記入すればよい。

取 引

1月10日 福井商店から次の商品を仕入れ、代金はさきに支払ってある内金 90,000 を差し引き、残額は掛けとした。

A 品 400個 @ 500 200,000
B 品 300" " 400 120,000

17日 長野商店に次の商品を売り渡し、代金は掛けとした。

B 品 150個 @ 500 75,000

19日 長野商店に売り渡した上記商品の一部に品違いがあったので、次のとおり返品された。なお、この代金は売掛金から差し引くことにした。

B 品 10個 @ 500 5,000

27日 富山商店に次の商品を売り渡し、代金のうち 160,000 は同店振り出しの約束手形#7で受け取り、残額は掛けとした。

A 品 350個 @ 800 280,000
B 品 100" " 500 50,000

30日 富山商店から売掛金の一部について、次の小切手#6で受け取った。

BY0006

小 切 手

支払地 富山県高岡市横田286

株式会社 全商銀行富山支店

金 額

¥200,000

富山 1701
0149-017

上記の金額をこの小切手と引き替えに
持参人へお支払いください

富山県富山市庄高田413

平成 ○ 年 1 月 30 日

富山 商店

振出地 富山県富山市

振出人 富山 次郎

富山

- 3 中部商店の次の取引を入金伝票・出金伝票・振替伝票のうち、必要な伝票に記入しなさい。ただし、不要な伝票は空白のままにしておくこと。

取引

6月/2日 石川商店から、借用証書によって貸し付けていた 金300,000 を現金で受け取った。(伝票番号 No. 56)

〃 日 愛知商店に対する買掛金の支払いとして、同店あての約束手形#9 金170,000 を振り出した。
(伝票番号 No. 73)

- 4 次の各問いに答えなさい。
(1) 岐阜商店はA品のみを販売し、商品有高帳を先入先出法によって記帳している。次の勘定記入と商品有高帳から(ア)と(イ)に入る金額を求めなさい。ただし、同店では、A品を1個あたり 金700 で販売している。

仕 入			売 上		
1/7 買掛金 22,000			1/9 売掛金 35,000		

商 品 有 高 帳											
(先入先出法)											
		品 名			A 品			単位 個			
平成 ○年	摘 要	受 入			引 渡			残 高			
		数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
/	/	前月繰越	20	500	10,000				20	500	10,000
	7	大垣商店	40	550	22,000				{ 20	500	10,000
									{ 40	550	22,000
	9	美濃商店				{ 20	()	(ア)			
						{ ()	()	(イ)	()	()	(イ)

- (2) 渋谷商店の下記の資料によって、次の金額を計算しなさい。
a. 収益総額 b. 期末の資産総額
- 資 料
- i 期首の資産および負債
- | | | | | | |
|-----|-----------|---------|-------------|-------|-----------|
| 現 金 | 金 700,000 | 当 座 預 金 | 金 1,800,000 | 商 品 | 金 300,000 |
| 備 品 | 500,000 | 買 掛 金 | 600,000 | 借 入 金 | 200,000 |
- ii 期末の負債総額 金 810,000
- iii 期間中の費用総額 金 7,110,000
- iv 当期純利益 金 290,000
- (3) 次の各文の [] のなかに、下記の語群のなかから、もっとも適当なものを選び、その番号を記入しなさい。
- a. 総勘定元帳への転記が正しくおこなわれているかを確かめるために、総勘定元帳の各勘定の借方合計と貸方合計の差額を集めて [ア] を作成する。この表は、精算表の作成や決算の基礎的な資料としても用いられる。
- b. 企業の経営活動は、継続することを前提に営まれているので、財政状態や経営成績を明らかにするためには、どこかで一定の時間的な区切りを設ける必要がある。この区切られた期間を [イ] という。

1. 決 算 2. 会 計 期 間 3. 残 高 試 算 表 4. 会 計 単 位 5. 合 計 試 算 表

- 5 北陸商店(個人企業 決算年/回 /2月3/日)の総勘定元帳勘定残高と決算整理事項は、次のとおりであった。よって、

- (1) 決算整理仕訳を示しなさい。
(2) 備品勘定・消耗品費勘定に必要な記入をおこない、締め切りなさい。ただし、日付・相手科目・金額を記入すること。
(3) 損益計算書を完成しなさい。

元帳勘定残高

現 金	金 870,000	当 座 預 金	金 1,594,000	売 掛 金	金 2,700,000
貸 倒 引 当 金	20,000	繰 越 商 品	510,000	前 払 金	490,000
備 品	900,000	支 払 手 形	1,100,000	買 掛 金	1,588,000
資 本 金	3,800,000	売 上	8,450,000	受 取 手 数 料	71,000
仕 入	5,379,000	給 料	1,560,000	支 払 家 賃	912,000
消 耗 品 費	80,000	雑 費	40,000	現 金 過 不 足 (貸方残高)	6,000

決算整理事項

- a. 期末商品棚卸高 金 570,000
- b. 貸倒引当金 売掛金残高の2%とする。ただし、差額を計上する方法によること。
- c. 備品減価償却高 金 180,000 (直接法によって記帳している。)
- d. 現金過不足勘定の 金 6,000 は雑益とする。

	借方	貸方
a		
b		
c		
d		
e		
f		

[illegible][illegible][illegible]

平成 〇年	摘要	借方	貸方	また貸 借は	高残
/ /	前月繰越	280,000		借	280,000

[illegible]

3 級の 1 得点

3

入金伝票		No. _____	
平成○年 月 日			
科目	入金先	殿	
摘要	金額		
合計			

出金伝票		No. _____	
平成○年 月 日			
科目	支払先	殿	
摘要	金額		
合計			

振替伝票				No. _____			
平成○年 月 日							
勘定科目	借方	勘定科目	貸方				
合計		合計					
摘要							

4

(1)	ア	イ	(2)	a	b	(3)	ア	イ
	¥	¥		¥	¥			

5

	借方	貸方
a		
b		
c		
d		

- (2) (注意) i 消耗品費勘定の記録は、合計額で示してある。
ii 勘定には、日付・相手科目・金額を記入し、締め切ること。

備品	7	消耗品費	16
1/1 前期繰越 900,000		80,000	

- (3) 損益計算書
北陸商店 平成○年/月/日から平成○年/2月3/日まで

費用	金額	収益	金額
売上原価		売上高	
給料		受取手数料	
()		()	
()			
支払家賃			
消耗品費			
雑費			
()			

試験場校	受験番号

3級の2得点

総得点

1

	借 方	貸 方
a	普 通 預 金 130,000	現 金 130,000
b	商 品 券 80,000 現 金 10,000	売 上 90,000
c	有 価 証 券(または売買目的有価証券) 703,000	当 座 預 金 703,000
d	当 座 預 金 4,600,000	建 物 4,100,000 固 定 資 産 売 却 益 500,000
e	通 信 費 16,000 交 通 費 20,000 雑 費 8,000 小 口 現 金 3,000 47,000 (または 通 信 費 16,000 交 通 費 20,000 雑 費 8,000 3,000)	小 口 現 金 47,000 当 座 預 金 47,000 当 座 預 金 47,000
f	現 金 1,000,000	資 本 金 1,000,000

2 (1)

仕 訳 帳 1

平成 〇年	摘 要	元 丁	借 方	貸 方
/ /	前期繰越高	✓	8,410,000	8,410,000
10	(仕 入) 諸 口		360,000	
	(前 払 金)			90,000
	(買 掛 金)			270,000
17	(売 掛 金)	4	75,000	
	(売 上)			75,000
19	(売 上)		5,000	
	(売 掛 金)	4		5,000
21	諸 口 (売 上)			330,000
	(受 取 手 形)		160,000	
	(売 掛 金)	4	170,000	
30	(現 金)		200,000	
	(売 掛 金)	4		200,000

総 勘 定 元 帳

売 掛 金 4

平成 〇年	摘 要	仕 丁	借 方	平成 〇年	摘 要	仕 丁	貸 方
/ /	前期繰越	✓	470,000	1 19	売 上	1	5,000
17	売 上	1	75,000	30	現 金	"	200,000
21	売 上	"	170,000				

(2) (注意) 売上帳・売掛金元帳は締め切ること。

売 上 帳

1

平成 〇年	摘 要	内 訳	金 額
1 17	長野商店 掛け		
	B 品 150個 @ ¥500		75,000
19	長野商店 掛け戻り		
	B 品 10個 @ ¥500		5,000
21	富山商店 約手・掛け		
	A 品 350個 @ ¥800	280,000	
	B 品 100 " " ¥500	50,000	330,000
31	総売上高		405,000
"	売上戻り高		5,000
	純売上高		400,000

売 掛 金 元 帳

富 山 商 店 1

平成 〇年	摘 要	借 方	貸 方	借 または 貸	残 高
/ /	前月繰越	280,000		借	280,000
21	売り上げ	170,000		"	450,000
30	回 収		200,000	"	250,000
31	次月繰越		250,000		
		450,000	450,000		

長 野 商 店 2

平成 〇年	摘 要	借 方	貸 方	借 または 貸	残 高
/ /	前月繰越	190,000		借	190,000
17	売り上げ	75,000		"	265,000
19	売上戻り		5,000	"	260,000
31	次月繰越		260,000		
		265,000	265,000		

3

入金伝票				No. 56	
平成○年6月12日					
科目	貸付金	入金先	石川商店 殿		
摘 要			金 額		
借用証書による貸付金回収			3 0 0 0 0 0		
合 計			3 0 0 0 0 0		

出金伝票				No. _____	
平成○年 月 日					
科目		支払先	殿		
摘 要			金 額		
合 計					

振替伝票												No. 73					
平成○年6月12日																	
勘定科目			借方			勘定科目			貸方								
買掛金			1	7	0	0	0	0	支払手形			1	7	0	0	0	0
合 計			1	7	0	0	0	0	合 計			1	7	0	0	0	0
摘要		愛知商店に買掛金支払い 約束手形# 9振り出し															

4

(1)	ア	イ	(2)	a	b	(3)	ア	イ
	¥ 10,000	¥ 5,500		¥ 7,400,000	¥ 3,600,000		3	2

5

(1)	借 方	貸 方
a	仕 入 510,000	繰越商品 510,000
	繰越商品 570,000	仕 入 570,000
b	貸倒償却 34,000	貸倒引当金 34,000
c	減価償却費 180,000	備 品 180,000
d	現金過不足 6,000	雑 益 6,000

- (2) (注意) i 消耗品費勘定の記録は、合計額で示してある。
ii 勘定には、日付・相手科目・金額を記入し、締め切ること。

備 品	7
1/1 前期繰越 900,000	12/31 減価償却費 180,000
	〃 次期繰越 720,000
900,000	900,000

消耗品費	16
80,000	12/31 損 益 80,000

(3)

損 益 計 算 書			
北陸商店 平成○年/月/日から平成○年/2月3/日まで			
費 用	金 額	収 益	金 額
売 上 原 価	5,319,000	売 上 高	8,450,000
給 料	1,560,000	受 取 手 数 料	71,000
(貸倒償却)	34,000	(雑 益)	6,000
(減価償却費)	180,000		
支払家賃	912,000		
消耗品費	80,000		
雑 費	40,000		
(当期純利益)	402,000		
	8,527,000		8,527,000

(貸倒償却は貸倒引当金繰入でもよい。)